

産まれてくるとき

濱田湧壮（熊本大学）

出産とは殺人である

という言説がテレビで流れている

母が 違うのにな と言う

限りあるいのちを与えたのにな

僕は そうだよな と言う

僕は詩を書いているのだ

母について書いていて

これを読んだら母は

深く傷つく

僕はそれを確信している

置物のような暗いシワを顔に貼り付け

昔 僕のものだった部屋で母は眠る

棚にはフランス人女性についての本や

宗教じみたパッケージの加湿器や

小学生の僕が書いた短い手紙が並び

いま顔のシワについて書くだけで

母は腰を抜かしてしまう

最近 腰を悪くしてしまったのは

たぶんそのせいだと思う

兄はちゃんと切り分けて考えていて

僕にビンタをする

そのあとで

ビンタをする と言う

これは同じ事じゃないだろ